

2022 アートパラ深川大賞【大賞】
有田 京子「南海本線車両の色」

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭

ARTPARA
FUKAGAWA
2023

開催報告書

アートパラ深川 おしゃべりな芸術祭 2023 開催報告書

目次

開催概要	2
芸術祭を終えて 広瀬新朗 2023実行委員長	3
1. はじめに	
アートパラ憲章	4
ごあいさつ 北條弘美 代表理事	5
2. 実施状況	
【展示】	
1. アートパラ・マーケット・フェア(AMF)：深川不動産ロータスホール	7
2. アートパラ・マーケット・フェア(AMF)：清澄庭園大正記念館	8
3. 街なかアート：門前仲町・清澄白河・森下・豊洲	9
4. 深川七福神巡り(街なかアート)	10
5. みんなのアート絵馬神輿：富岡八幡宮	11
6. 特別企画「ハートプロジェクト」：ららぽーと豊洲+清澄庭園大正記念館	12
7. 特別企画「書」の展示：清澄庭園大正記念館	13
【イベント・企画】	
1. オープニングセレモニー：東京都現代美術館地下講堂	15
2. 商店街企画：森下・高橋のらくろ〜ド商店街でのライブ+イベント	16
3. 芝生ホリディ(清澄庭園×アート×ミュージック)：清澄庭園	17
4. 特別支援学校生徒の校外学習の機会創出企画	18
5. アート鑑賞ワークショップ：清澄庭園 涼亭	19
【広報・販促】	
1. 案内所：深川不動産	21
2. 360°Viewカメラ	22
3. 記録動画	22
4. 作品集	23
5. 広報製作物	24
【来場者・参加者】	
1. 来場者数	27
2. 来場者アンケート	28
3. ボランティア	31
4. アーティストの声	34
3. 主催および共催	
アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023実行委員会・一般社団法人アートパラ深川	36
組織図	37
4. 助成および後援、寄付	37
5. 協賛パートナー	38
6. 協力	39
7. 運営	
1. 企画グループ (AMFチーム/ハートプロジェクトチーム/清澄庭園チーム/オープニングセレモニーチーム)	40
2. 地域グループ (街なかアートチーム/商店街企画チーム/地域連携チーム)	41
3. 広報グループ (公式HPチーム/メディア発信チーム/SNS発信チーム/アーティスト支援チーム/案内所チーム)	42
4. 実行委員長統括グループ (絵馬神輿チーム/2024公募展準備チーム/かつぎ隊チーム)	43
5. 総務グループ (総務チーム/危機管理チーム/ボランティアチーム/製作チーム/会計チーム)	44
6. 法人内グループ (企業協賛チーム/KOTOパートナーズチーム/財務審査会議)	44
8. 会計報告	45
9. 次回芸術祭に向けて	
本田 和恵 2024実行委員長	46

開催概要

名称 アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023

開催期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日) 9日間

テーマ 耀き(かがやき)の年

目標(思い) 100年続く芸術祭に

行動指針

「市民芸術祭」私たちは一市民として自らの意思により芸術祭実行委員に参加し、地域社会への貢献を重んじます
「深川モデル」私たちはアートと作者に光をあて、作者の未来が拓ける一助となる仕組みを深川らしく構築します
「自他尊重」私たちは持続可能な共生社会の実現を目指して、自他尊重を基本姿勢に多様性への理解を広めます

実行委員長 広瀬新朗

副実行委員長 神吉宇一 友田奈津美 堀部佳孝 望月美穂

会場

富岡八幡宮 深川不動堂ロータスホール 深川仲町通り商店街 人情深川ご利益通り
牡丹町笑栄会商店街 東京都現代美術館地下講堂 清澄庭園・大正記念館・涼亭
深川資料館通り商店街 萬年橋~隅田川テラス 本誓寺参道 臨川寺外堀
芭蕉庵史跡展望公園 芭蕉記念館 森下商店街 のらくろ~ド商店街 高橋 海辺橋
深川七福神(深川神明宮、深川稲荷神社、龍光院、円珠院、心行寺、冬木弁天堂、富岡八幡宮)
アーバンドックららぽーと豊洲 豊洲シエルタワー ブランズタワー豊洲 豊洲ぐるりパーク
春海橋公園 ミチノテラス豊洲

企画

- ・オープニングセレモニー：東京都現代美術館地下講堂
- ・アートパラ・マーケット・フェア(AMF)：深川不動堂ロータスホール・清澄庭園大正記念館
- ・街なかアート：門前仲町・清澄白河・森下・豊洲
- ・みんなのアート絵馬神輿：富岡八幡宮
- ・芝生ホリディ：清澄庭園
- ・特別企画「ハートプロジェクト」：アーバンドックららぽーと豊洲・清澄庭園大正記念館
- ・特別企画「書」の展示
- ・商店街企画:森下・高橋のらくろ~ド商店街でのライブ+イベント
- ・特別支援学校生徒の校外学習の機会創出企画
- ・アート鑑賞ワークショップ：清澄庭園 涼亭
- ・作品集の作成
- ・案内所：深川不動堂

主催

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023実行委員会 一般社団法人アートパラ深川

2023芸術祭を終えて

広瀬 新朗

2023年10月22日、おかげさまをもちましてアートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023は無事閉幕を迎えました。まずは、冒頭におきまして、今回も多くの皆様に支えられ、励まされ、そしてご協力をいただき開催できましたことを心より深く御礼申し上げます。

今回で4回目の開催となった本芸術祭は、2023年10月14日に東京都現代美術館の講堂にて行われたオープニングセレモニーで開幕しました。現代アートを幅広く収蔵・展示されている美術館の一角にあるこの会場は、まさに本芸術祭の始まりに集う理想的な場所であったと言えます。多数のアーティストとご家族や施設の方々からのあふれる笑顔がとても印象的でした。

さて、私たちにとっても今回は大きな転換点となり、全国公募展とその入賞アーティストのグループ展(一部は販売)「アートパラ・マーケット・フェア(AMF)」を今後は交互で開催するという2年 シークエンスへ移行しました。全国公募展の開催年を「萌芽の年」、グループ展の開催年を「耀きの年」と位置づけ、新たなアーティストと作品の発掘と、これらに光をあてることをパートナー企業の皆様のお力を借りながら2年セットで丁寧に実施していこうとするものです。

今回2023ではグループ展「アートパラ・マーケット・フェア(AMF)」を開催、45名247点もの作品が寄せられ、販売においては前回を上回る総額240万円を超える実績を残し、全額をアーティストにお渡しすることができました。この飛躍的な結果につきましては、ただ驚くばかりです。

街全体を美術館にするという風景をつくり出す「街なかアート」では、500点余のアート作品を街のあちこちに展示しました。今回は感染症の行動制限も解除され、アートを鑑賞しながら思う存分「おしゃべり」を楽しめたことが最大の喜びとなったと実感しています。

このほか、すっかり本芸術祭のシンボルとなった「みんなのアート絵馬神輿」は今年も健在でしたし、区内4つの特別支援学校の皆さんと取り組んだ「ハートプロジェクト」も定番企画となりつつあります。多大な地域のご理解・ご協力あってこそ実現できている企画と考えますが、いずれも本芸術祭 と地域との連携の成果であると切に感じています。

次回2024では、先述のとおり「全国公募展」を実施いたします。また新たなアート作品や才能に出会えると思うと、今から楽しみでなりません。最後になりますが、今回2023にご参加いただいたアーティストとご家族、施設や関係者の皆様、本当にありがとうございました。また深川でお会いしましょう。



広瀬 新朗 2023実行委員長
ひろせ よしあき 株式会社ゲートウェイ 代表取締役

東京都内を中心に「シェアオフィス・コワーキングスペース」の企画運営を行う。その一つが清澄白河にあることから地域とご縁をいただき、本芸術祭に2019年立ち上げ当初より携わり今日に至る。お酒と料理とキャンプが趣味。京都市出身

1. はじめに

「共に生きる」社会を目指して

2023年秋。

9日間にわたり、江東区の門前仲町、清澄白河、森下、豊洲がアートに溢れ、深川の街なか全体が美術館になりました。

主催は、深川とアートを愛する地域住民。「共に生きる」の大義のもと、今回で4回目となる【アートパラ深川おしゃべりな芸術祭】が開催されました。

江戸からの風情と情緒を残す下町「深川」と、海と近代的なビルが融合した先進都市「豊洲」の街中に展示された、何らかの障がいを持つ方々から生み出された作品群。それらは間違いなく、多くの人たちの心を掴んだに違いありません。

アートパラ憲章

日本国内で生活している障がい者はおよそ1.160万人※。住民の約10人に1人が、何らかの障がいと共に社会生活を営んでいます。

私たちは、その方々がつくりだすアートの魅力を知っているでしょうか。健康だと思っている自分が、どれだけ「健常とされるもの」の枠内で暮らし、その外の世界を知らないことに気づいているでしょうか。そうした自分の側にこそ、見えるはずのものが見えない、思い込みのフィルターがかかってしまっているのです。また逆に、障がいのあるアーティストの方々、人間本来の躍動感をたずさえた自らの作品の魅力と価値を、社会に伝える機会を与えられているでしょうか。

「アートパラ深川」は、アートを街に解放する芸術祭です。街なかを舞台としたアート展は、偶然の出会いをそこかしこにつくり出します。神社仏閣巡りとアート鑑賞が合体した御利益のある街歩き、さまざまなスタイルのアート展示や誰でも参加できるイベントも盛りだくさん。深川という舞台が世界中から訪れた人々に感動を与えるでしょう。

アートの力は人々を引き寄せ、立ち止まった人たちの「対話」を生みだします。曇りなき眼で「美しい」を感じとり、正当な価値と魅力が知られることは、障がいのある方々の個性や才能を活かすことができる社会へとつながります。誰もがそれぞれを認め合い、支え合う「共に生きる」社会がここから実現するのです。それこそが私たちの誇りとするこの街のレガシーになっていくものと確信します。

※2023年障害者白書より

代表理事あいさつ

北條 弘美

今年も皆様に「第4回アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」のご報告ができることに、心からの喜びを感じております。本芸術祭は、「共に生きる社会を目指す」をテーマに、障がいのあるアーティストたちと社会をつなごう、深川の町全体を美術館にして、彼ら・彼女らの作品にできるだけ多くの人たちにふれ合ってもらおう。そして、私たちがアーティストと社会をつなぐ橋渡しの役目を担っていきこう。そんな思いから、世界初の試みとして2020年に始まりました。

そして4回目を迎えた2023年度も、皆様の変わらぬご支援により、私たちは多くの成果を上げることができました。その報告と共に、私たちの未来への展望をお伝えさせていただきます。

2023年は来場者数が10万人を超え、ますます盛り上がりを見せています。実行委員も80名を超える規模に成長しました。また、芸術祭を応援してくださるパートナー企業様も50社以上に達したことも、今後の活動への強い励みとなっております。

今年度の大変喜ばしい成果の一つとして富岡八幡宮の丸山宮司様からのご依頼によって、須田雄真さんの干支大絵馬を奉納させていただきました。2024年度いっぱい彼の2メートルを超える大絵馬が社殿に飾られ、参詣される多くの方々感動を与えることでしょうか。須田さんの絵馬に秘めた思いを書いたパネルも展示されています。私も訪れるたびに、アートが人々の心に対話とつながりをもたらす力を持っていると、改めて実感しております。

アーティストの作品がプロダクトにも使われる機会も生まれ始めています。その一つが、KEEN様との「KEEN×ARTPARA FUKAGAWA」コラボレーションです。このプロジェクトは、障がいを持つアーティストの作品の新たな価値を社会に広める大きな一歩となりました。商品売り上げの一部をアーティストに還元する革新的な取り組みは、アーティストの持続可能な活動を支え、アートパラ深川の理念を具体化しています。

その他にも多くのパートナー企業様よりお声がけをいただき、様々な形でアーティストの作品が皆様の目に触れることが増えてきています。

これらの成果は、単なる個々の成功ではありません。これは、アートパラ深川とパートナー企業様、そして地域社会が丸丸となって築き上げた成果であり、共創の力の証しです。

私たちはこの活動によって、障がいを持つアーティストの才能が社会に広く認められ、共感を呼ぶことに、大きな喜びを感じています。私たちはこれからも、アートを通じて「共に生きる」社会の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

今後とも、皆様のさらなるご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」が社会に対して価値ある貢献をし続けられるよう、共に手を取り合って歩んでいけますようよろしくお願いいたします。皆様とのご縁に心より感謝申し上げます。



北條 弘美

きたじょう ひろみ

一般社団法人アートパラ深川代表理事
株式会社Sougo代表取締役社長
一般社団法人日本女性財団理事

赤ちゃんからご家族全員で安心してお使いいただける、日本を代表するコスメブランド「華密恋」を企画・製造・販売。身体的・精神的にストレスにさらされていることの多い時代。心と身体をリセットする場、製品を提供することにより、「人のお役に立ちたい」という想いをもち、国内生産者と連携してカモミールの有機栽培を広げ、幅広い活動に注力。現在国内で6県で生産していただく。岐阜県大垣市では、大垣市役所内に薬草組合をおつくりいただき減反政策の一助として始めていただき40年数年生産。また、10数年前から乳がん患者様・アレルギーの患者様を支援する活動を行っており、所有するお宿「八寿恵荘」は、自然素材の宿でピンクリボンのお宿ネットワークに登録。カミツレエキス製造工場と華密恋の湯をお楽しみいただける八寿恵荘、有機JAS認定の自社農園のあるエリアを「カミツレの里」とし、長野県北安曇郡池田町の町おこしも行っている。

2. 実施状況

展 示
Exhibition

アートパラ・マーケット・フェア(AMF) 深川不動堂ロータスホール

「障がいを持ったアーティストと、共に生きる」をミッションとした
アートパラ深川において、障がい者アートのアートマーケットを創造することを目的として
2021年から継続開催し今年度で3回目となりました。

昨年同様、前年の公募展で入賞された
アーティストの作品展示および販売(希望されるアーティストのみ)を実施。
当日は実行委員がアートの説明や購入希望者とアーティストをつなぐサポートを行ないました。
今年は販売にあたりECサイトを利用し購入手続きの利便性を図りました。
作品の展示にあたっては、(株)デザインアートセンター様にご協力頂きました。



出展アーティスト人数 35人 出展作品数 163点 来場者数 1,502人
売上点数 85点 売上総額 2,429,260円

期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日) 10:00~17:00
※10月13日に協賛パートナー様限定の「プレミアプレビュー」も開催
会場 深川不動堂ロータスホール 江東区富岡1-17-13



アートパラ・マーケット・フェア(AMF)

清澄庭園 大正記念館

本会場では販売を希望しないアーティストの作品のみを展示しました(販売は実施無し)。

庭園内の清らかな景色とアートが融合したすばらしい環境の中、

多くの来場者に展示を楽しんで頂きました。

今年はインバウンドの影響が大きく、清澄庭園には連日多くの観光客の方がいらっやっていて、

何人もの人から「この素晴らしい作品を購入したい」というお声を頂きました。

今回、本会場では非売品の作品のみでしたが、たくさんの人が作品を欲しいとおっしゃっていたことを

アーティストにお伝えしたいと思います。

作品の展示にあたっては、(株)デザインアートセンター様にご協力頂きました。

また東京都公園協会清澄庭園の皆様にも多大なご協力を頂きました。



出展アーティスト人数 10人 出展作品数 61点 来場者数 2,530人

期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日) 10:00~17:00

※10月13日に協賛パートナー様限定の「プレミアプレビュー」も開催

会場 清澄庭園 大正記念館 江東区清澄3-3-9



街なかアート

門前仲町 清澄白河 森下 豊洲

門前仲町、清澄白河、森下、豊洲の4エリアの街なかに、500点以上のアートを展示しました。

展示したアートはアートパラ深川の2020年~2022年の3回の全国コンペにおける
入選・入賞作品のレプリカです(ジクレー印刷版画)。

作品の設置場所を実行委員が選定し、商店街幹部、各店舗、清澄庭園、深川七福神等の神社仏閣
などに設置を依頼、設置方法の説明をし、地域の皆様にご協力をお願いしました。

今年も展示するアートがどこにあるかを来場者がわかるようにするため、

展示作品名・作家名の入ったGoogleMAPを作成し、「ART MAP」として公式WEBサイトに公開しました。

同時に、昨年の入賞者・入選者の展示エリア案内資料を作成し、

巡回アートクルーが来場したアーティストや一般来場者が鑑賞したいアートに案内できるような工夫もしました。

アートの額装および会期後の額装外し・清掃作業を、

江東区内の障がい者施設(おあしす福祉会、江東楓の会、のびのび福祉会)に依頼。

設置にあたっては、路上設置に関する申請書届出を東京都第5建設事務所・深川警察署交通課(交通規制係)

・江東区道路課・河川公園課・東京都港湾局に行ない、安全と安心のあるアート展示を徹底しました。

このように、実行委員だけでなく深川の街じゅうの皆様のご協力の下、

アートが溢れる街を実現することができました。

期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日)

会場〈門前仲町エリア〉 深川仲町通り商店街、深川東京モダン館、人情深川ご利益通り、富岡八幡宮
冬木弁天堂、心行寺、牡丹町笑栄会商店街、古石場文化センター

〈清澄白河エリア〉 海辺橋、本誓寺参道、臨川寺、円珠院、龍光院、深川稲荷神社、清澄庭園、深川資料館通り商店街

〈森下エリア〉 高橋のらくろ〜ド商店街、森下商店街、高盛会、高橋、万年橋、隅田川テラス、芭蕉記念館
芭蕉庵史跡記念展望公園、深川神明宮

〈豊洲エリア〉 豊洲公園、春海橋公園、豊洲ぐるり公園遊歩道、プランズタワー豊洲、豊洲シエルタワー
ミチノテラス豊洲



深川七福神巡り(街なかアート)

七福神が祀られている寺社で、「万福招来」を祈願するのが七福神めぐりです。

7つの災いを祓い、7つの福德を授かると信仰されてきました。

深川では明治末期ごろに始まり、戦後一時中断。1970年に復活し、以降深川の街では長く親しまれています。

下町情緒あふれる、歴史と文化の散歩道として七福神めぐりの草分けでもある「深川七福神」は深川の住民にとってシンボリックな風習・場所です。

アートパラ深川のイベント期間は、本来の七福神巡りの時期ではないものの、昨年同様展示を行ない、また七福神巡りの時期にあたる新年にも再度展示させていただく機会を得たことで、お正月の街歩きを楽しむ方々にもアートの魅力を認知していただくことができました。



期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日)・12月30日(土)~2024年1月7日(日)

会場 深川七福神 深川神明宮【寿老神】 深川稻荷神社【布袋尊】 龍光院【毘沙門天】
円珠院【大黒天】 心行寺【福祿寿】 冬木弁天堂【弁財天】 富岡八幡宮【恵比寿神】



みんなのアート絵馬神輿

江東区内にある特別支援学校、障がい児・者支援施設、特例子会社等に通う方たちも参加出来る企画として、今年も実施し4回目となりました。これはバリアフリー社会の実現への願いと共に、たくさんの「小さな芸術家たち」による表現の機会として企画され、富岡八幡宮境内に展示することにより、開催期間中に外出するきっかけとなったり、社会参加への意識醸成につながったりしています。江東区内の障がいを持つ子どもたちや、福祉施設の方々が描いた約1,300枚の「みんなのアート絵馬」と著名人による「応援アート絵馬」が取り付けられた、本芸術祭のシンボリック的存在である「アート絵馬神輿」を今年も製作・展示しました。同神輿は富岡八幡宮の丸山宮司による「御霊入れ神事」も行われました。神輿以外にも「絵馬ボード」を設置し、作成された全ての絵馬を富岡八幡宮境内に期間中毎日展示しました。特に今年はアートパラ深川受賞アーティストの須田雄馬さんが富岡八幡宮さまからのオーダーを受け製作した、2024年の干支である「辰」をモチーフにした大絵馬も神輿と共に展示され、昨年よりもさらにこの展示が華やかなものになりました。



期間 2023年10月14日(土)~10月22日(日)
会場 富岡八幡宮 江東区富岡1-20-3



特別企画「ハートプロジェクト」

～ 江東区内の特別支援学校4カ所の子供たちの作品展示 ～
アーバンドックららぽーと豊洲&清澄庭園大正記念館

江東区内特別支援学校のアートパラへの参画、区内の障がいを持つ子どもたちの社会参加、障がいを持つ子どもたちの存在の社会的認知拡大を促進することを目的として、ハートのオブジェおよびハートカードの作成と展示を行ないました。

ハートのオブジェ(大4つ・中2つ)は昨年度使用した型枠を再利用し、学校単位でマスキングテープを貼り付けて作成しました(墨東・城東は大各1つ、臨海青海・江東は大・中各1つ)。ハートカードは各学校で希望する学年または個人で作成しました(城東、墨東、江東、臨海青海)

会期初日と2日目は、ららぽーと豊洲のセンターポートに展示、
会期3日目から終了までは清澄庭園大正記念館に展示しました。

この制作はマスキングテープアーティストの西村公一氏と
武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科神吉ゼミの学生にご協力頂きました。



- 期間 ① 2023年10月14日(土)~10月15日(日)(2日間) 9:00~21:00
② 2023年10月16日(月)~10月22日(日)(7日間) 10:00~17:00(最終入場は16:30)
会場 ① アーバンドックららぽーと豊洲 江東区豊洲2-4-9 2
② 清澄庭園 大正記念館 江東区清澄3-3-9



特別企画「書」の展示

清澄庭園大正記念館

10月14日に開催したオープニングセレモニーにおいて、
ダウン症の芸術家 隅野由子さんが「書」のライブパフォーマンスを披露してくださいました。
そして、その後この「書」は、期間中清澄庭園・大正記念館内に展示されました。



期間 2023年10月15日~10月22日
10:00~17:00(最終入場は16:30)

会場 清澄庭園 大正記念館 江東区清澄3-3-9



2. 実施状況

イベント・企画
Ceremony/Project

オープニングセレモニー

東京都現代美術館 地下講堂

2022年全国公募展で受賞した26人のアーティストをお招きして、
2023年のアートパラ深川のオープニングセレモニーを開催しました。
会場として深川のアートの象徴とも言える東京都現代美術館の地下講堂をお借りできたことは、
実行委員もアーティストも「アート」に関わる者として、とても感動的なことでした。
イベントではダウン症の芸術家・隅野由子さんによる「書」のライブパフォーマンス、
2022年全国公募展の大賞・準大賞のアーティスト(有田京子さん、奥亀屋一慶さん、山崎利之さん)のご登壇、
アートパラ深川を通じて富岡八幡宮に展示されることになった2022年公募展入賞アーティストの
須田雄馬さんの辰年をテーマにした大絵馬のお披露目などが行われました。
第1回からスペシャルアドバイザーとしてサポートいただいているコシノジュンコ氏もご出席頂きました。
当日はアーティスト、実行委員の他、協賛パートナー様、協力企業・団体等の皆様が
ご参加くださり総勢約200名でオープニングを祝うことができました。

期間 2023年10月14日 13:00~14:30

会場 東京都現代美術館 地下講堂 江東区三好4-1-1



商店街企画

森下・高橋のらくろ〜ド商店街

高橋のらくろ〜ド(高橋商店街)の日曜歩行者天国をお借りして、以下の様々なイベントを実施しました。

- パフォーマンスライブ(ダンデライオン&ラブガーデンによるゴスペルライブ「百花繚乱」)
- 電動車椅子試乗会
- レゴブロックワークショップ
- 手作り福祉玩具展示(おぎもとき)
- 江東区内障害者施設の製品販売
- リアルポッチャ+オンラインポッチャ体験

〈 来場者数:4,066人 〉

10月15日に予定していたサルサガムテープによるワークショップ&ライブは雨天のため残念ながら中止となりました。この企画については別途開催する予定です。

期間 2023年10月15日(日) 荒天により中止 2023年10月22日(日) 12:00~17:00

会場 森下・高橋のらくろ〜ド商店街 (江東区高橋)



芝生ホリディ

清澄庭園×アート×ミュージック

清澄庭園内に設置したアート作品付近では、「芝生ホリディ」と称して、心地よいアンビエント・ミュージック(環境音楽)を流し、アート作品とのコラボレーションを五感で楽しめる企画を実施しました。

世界的なフェスティバルでも活躍するサウンドアーティストの sawakoさんより楽曲を提供いただきました。

期間中の清澄庭園への来場者数は9,068人でした。

期間 2023年10月14~15日 ※10月15日は荒天により中止
2023年10月21~22日 10:00~17:00

会場 清澄庭園 江東区清澄3-3-9



特別支援学校生徒の校外学習の機会創出企画

武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科の学生5名と教員が本企画を実施。

墨東特別支援学校の高等部3年生9名の校外学習として、
アートパラ期間中に来場・見学をする機会を創出しました。

コロナ禍で校外学習が実施しづらい中で、

2021年度から継続して毎年実施できるようになったことは重要な成果と言えます。

また、生徒たち自身が作成した絵馬を実際に見ることができたことなど、
高等部の3年生にとって貴重な校外学習の場となりました。

学校に残って中継を見た子どもたちも、自分達が作成した絵馬が飾られている様子を中心に、
アートパラの様子を見ることができ、大変喜んでいました。

この取り組みはコミュニケーションを学ぶ大学生が、障がいによってコミュニケーションを
取りづらいことに対して、言語だけではなくコミュニケーションの在り方を学ぶ機会にもつながりました。

また車イスでの移動介助を体験し、街の中のバリアに気づく機会にもなりました。

特別支援学校児童にとっては「大学生」という、普段関わる機会の少ない人たちに触れる機会となり、
彼らの今後の進路や生活のイメージを広げることに寄与できたのではないかと感じています。

アートパラ深川で自分たちが作成した絵馬や同じ障がいを持つ
アーティストの作品に触れることをきっかけに、大学と特別支援学校とのつながりができ、
双方の学びの機会を拡充できたと 言えます。

期間 2023年10月19日(木) 10:00~11:30

会場 富岡八幡宮、深川不動堂ロータスホール



アート鑑賞ワークショップ

武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科神吉ゼミの学生と教員が本イベントを企画。対話型アート鑑賞を通して、アートの解釈の多様性、参加する人々の解釈の多様性等に触れることで、多様性に気づき多様性を積極的に価値づけていくことを目的として実施しました。

学生がファシリテーターとなり、アートを通じて自由な発想と他者理解を深め、参加者はアートを鑑賞しながら自分の鑑賞のポイントや解釈について意見交換をしていきました。また、ファシリテータートレーニングを受けた学生たちの対話・傾聴力の向上も見られました。

2日間で19人が参加し、風情ある涼亭の空間と秋の夜長をアートと楽しみ、まさに芸術の秋を堪能できた2日間でした。

期間 2023年10月17日(火)、18日(水) 2回 18:00~20:00

会場 清澄庭園 涼亭



2. 実施状況

広報・販促
Public Relations・Promotion

案内所

今年は深川不動堂様のご協力により、境内に入って正面のとても目立つ場所に、案内所を設置させて頂くことになりました。

来場者からの問い合わせに対応したり、公式リーフレット等の配布を行い、アートパラ深川の魅力を多くの方に知って頂く活動をしました。

今年は新型コロナ感染症が5類感染症に移行したことに伴い海外から観光客が増加傾向にあることを見据え、昨年に引き続き江東区英語ボランティアガイド協会(KEV)の皆様のご協力により、英語対応可能な案内所として運営を行ないました。

期間 2023年10月14日~10月22日 10:00~16:00 ※初日は14:00~

会場 深川不動堂境内



360° Viewカメラ

深川エリアに来られない方や、遠方の方向けにオンラインで楽しめるコンテンツも実施しました。

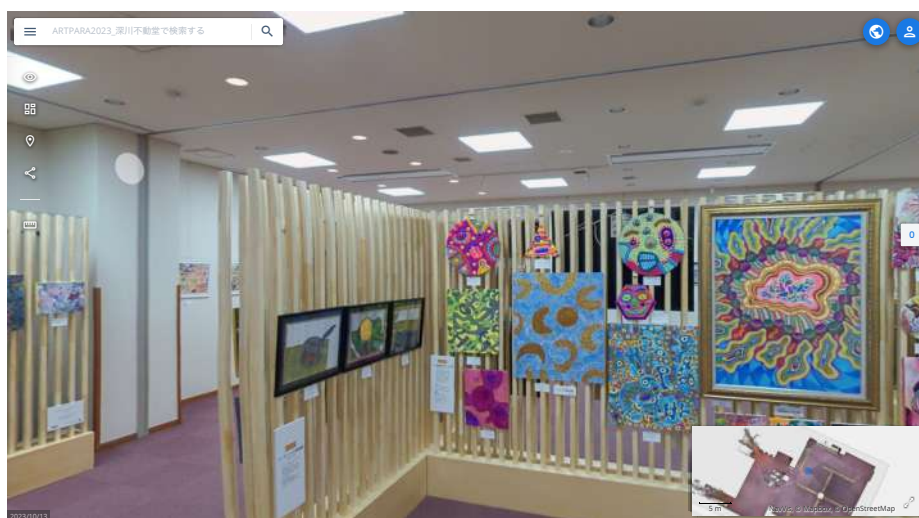
オンラインでしか体験できない360°Viewカメラで楽しむアート鑑賞を実現。

清澄庭園・大正記念館、深川不動堂ロータスホール内を

株式会社日本インシーク様のご協力のもと3次元計測により提供頂きました。

公開はイベント終了後となりましたが、現在も公式ホームページにて公開中です。

URL <https://artpara-fukagawa.tokyo/2023amf/>



記録動画

アートパラ深川を一人でも多くの方に知ってもらうために、そしてアーティストやその作品の素晴らしさや感動を広げていくために、今年も動画を作成しました。

公式ホームページから通年でご覧頂けます。

URL <https://www.youtube.com/watch?v=seL4aSOxVFY>



作品集

アートパラ・マーケット・フェア(AMF)の定義「1.アートマーケットの信頼性と流動性を提供」において、100年続く芸術祭としてその年の作品の比較ができるよう記録を残すことが重要と考えました。

また、Web上でのまとめだけでなく、作品集として「紙」にして残すことで、

障がいをもったアーティストにも公平性をもって見ていただけること、

また作品集に作品が記録されることでアーティストのさらなる創作意欲を引き出し

自立支援のための一助になるとも考え、昨年に引き続き今年も「作品集」を作成し、

アーティストや協力頂いた皆様にお渡しすることになりました。

この作品集は、協賛企業、事務局メンバー、ボランティアや展示会場などすべての関係者が

この芸術祭を皆で作ったという記録となり、翌年の協賛依頼など広く仲間を増やすための

よきツールにもなると考えています。今年は4,000部作成しました。



広報製作物

アートパラ深川を多くの方に知って頂くために、今年も様々な広報ツールを製作しました。
今年度は猛暑だったこともあり、初めて「うちわ」を作製しました。



ARTPARA FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭
ARTPARA FUKAGAWA 2023

10月14日[土]～10月22日[日]
江東区内【門前仲町・清澄白河・森下・豊洲】

深川・豊洲の街なかで500点以上の個性豊かなアートと出逢える9日間

<https://artpara-fukagawa.tokyo>

ARTPARA FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭
ARTPARA FUKAGAWA 2023

10月14日[土]～10月22日[日]
江東区内【門前仲町・清澄白河・森下・豊洲】

深川・豊洲の街なかで500点以上の個性豊かなアートと出逢える9日間

<https://artpara-fukagawa.tokyo>

フライヤー・ポスター

ARTPARA FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭
ARTPARA FUKAGAWA 2023

10月14日[土]～10月22日[日]
江東区内【門前仲町・清澄白河・森下・豊洲】

今年で4回目となるアートパラ深川おしゃべりな芸術祭は、地域住民が中心となって立ち上げた市民の芸術祭です。今年度は江東区の高層ビルアートで盛り、街全体を美術館に変え、誰もが気軽に楽しめるアート祭を目指しています。

わたしたちの想い
「共に生きる」社会へと歩みを進めたい

本芸術祭がここ深川ではじまり、現在全体が盛り上がるまでには、まだまだ時間がかかります。その間に、街全体が美術館になるまでには、まだまだ時間がかかります。その間に、街全体が美術館になるまでには、まだまだ時間がかかります。

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023は、今年度の企画は公募で出展するアーティストと、その間に、街全体が美術館になるまでには、まだまだ時間がかかります。

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023 実行委員長、広報部長

ARTPARA FUKAGAWA 2023

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭

10月14日[土]～10月22日[日]
江東区内【門前仲町・清澄白河・森下・豊洲】

深川・豊洲の街なかで500点以上の個性豊かなアートと出逢える9日間

<https://artpara-fukagawa.tokyo>

室内説明パネル

AMF 階がいのあるアーティストに寄り添い
共にマーケットを創造していく
アートパラ・マーケット・フェア

「アートパラ深川」は全部公開展でアーティストに光を当てるだけでなく、可能性を伸ばす活動を行っています。その一つの柱がアートパラ・マーケット・フェア(AMF)です。誰もが気軽にアーティストのマーケットを創出していくことを目指しています。公開展で入選したアーティストの方々の作品を展示しています(オンラインで購入できる作品もあります)。入賞アーティストの賞の高い作品をじっくりご覧いただけます。売上げはすべてアーティストに還元されます。

入賞・入選作品と入賞アーティストの作品を展示中

「アートパラ深川大賞2022」は、全部が6547作品もの応募があり、厳正なる審査の結果、131の作品が入選されました。さらに、スペシャルブレイクアワーズのコンペティションを中心とした、今年度の特別審査員会も開催し、新しい作品の結果、45作品が大賞をはじめとした賞に選ばれました。当会場では入賞されたアーティストの作品を展示しています。

アートパラ深川大賞2022 特別審査員

展示作品はご購入いただけます(一部を除く)

AMF会場に展示されている作品はご購入いただけます(一部は購入いただけない作品もあります)。専門スタッフが会場に常駐しておりますので、ご購入の希望や質問などがありましたら、遠慮なくお声がけください。

ARTPARA FUKAGAWA 2023

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭

10月14日[土]～10月22日[日]
江東区内【門前仲町・清澄白河・森下・豊洲】

深川・豊洲の街なかで500点以上の個性豊かなアートと出逢える9日間

<https://artpara-fukagawa.tokyo>

公式リーフレット

広報製作物



デジタルサイネージ



のぼり



会場表示バナー



都バス広告



企業ロゴバックボード



屋外ポスター

2. 実施状況

来場者・参加者

来場者数

- ① 2020年度 9日間で約74,000人 (1日あたり約 8,222人)
- ② 2021年度 10日間で約93,000人 (1日あたり約 9,300人)
- ③ 2022年度 9日間で約98,000人
 - +アートパラin豊洲 4日間で約38,000人
 - 合計13日間で約136,000人(1日あたり約10.460人)
- ④ 2023年度 9日間で約**130,000人** (1日あたり約14,444人)
 - ※10月15日は荒天のため屋外の展示とイベントは中止しました

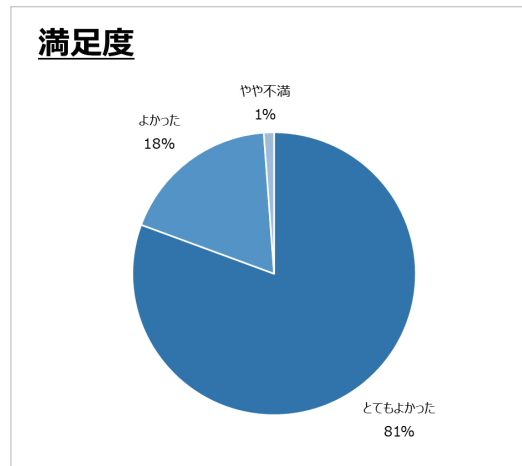
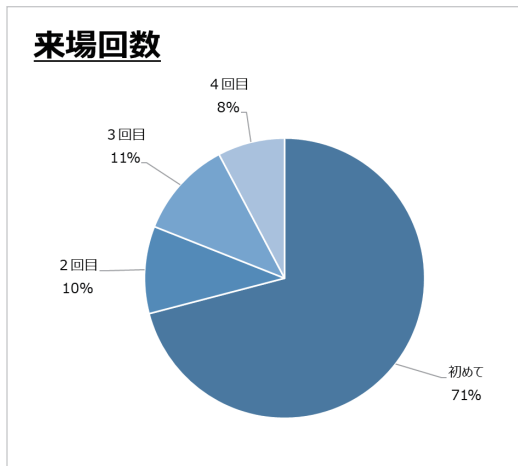
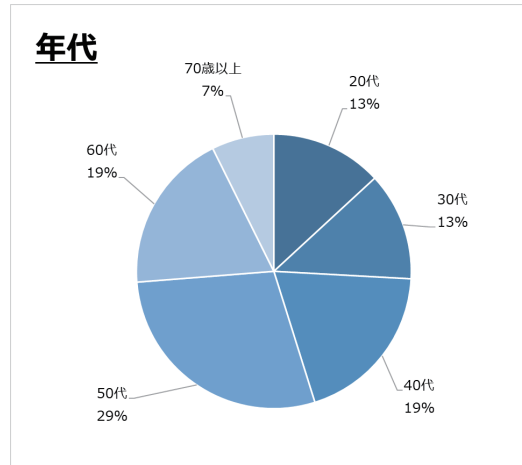
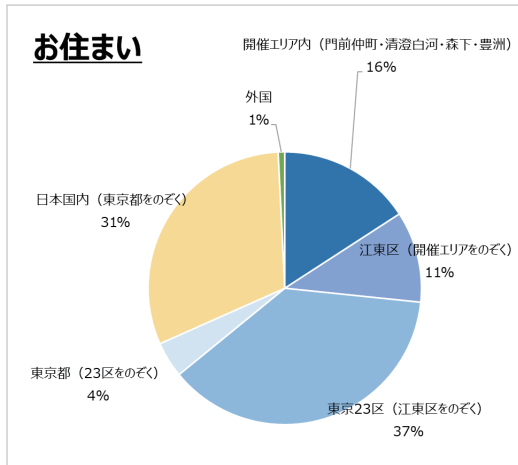


来場者アンケート

■ 実施概要

「アートパラ深川 おしゃべりな芸術祭2023」の会期中、来場者アンケートを実施しました。会期は2023年10月14日(土)~22日(日)の9日間。現地等で配布しているリーフレットにQRコードを記載し、アンケートフォームに誘導し回答を得ました。有効回答数は260件、好意的な評価を多数頂きました。また、うち158件ではフリーコメントの記入がありました。

■ 回答数 260件



興味を持った理由

(9)「アートパラ深川」に興味を持った理由を教えてください。(複数回答)

選択肢	選択した人の数	選択した人の割合
アートや芸術祭に関心があるから	197	77%
「共に生きる社会の実現」というコンセプトに共感したから	75	29%
「地域イベント」に関心があるから	70	27%
「障がい者支援」に関心があるから	69	27%
家族や親しい人に障がいのある人がいるから	41	16%
自分自身が障がいの当事者だから	7	3%
その他	13	5%

来場して関心を持つようになったこと

(10)「アートパラ深川」に来場されて以前よりも関心を持つようになったことがあれば教えてください。(複数回答)

選択肢	選択した人の数	選択した人の割合
アートや芸術祭	155	60%
障がい者アート	147	57%
地域イベント	89	35%
共に生きる社会の実現	87	34%
マイノリティ支援	32	12%

【アンケートフリーコメント 抜粋】

- 作品の絵葉書やレプリカや作品集を購入したい
- 会期をもう少し長くしても良いと思います。
- 作品を見て、作家のことをもっと良く知りたくなりました
- 何点か気に入った作品がありました。購入などで支援できるのでしょうか
- 屋外の展示は気持ちいいです。写真を撮ったときに光らないように工夫してもらえると、もっとうれしい
- 細かいところまで、繊細な表現がされていて、感動しました。個展などもあるとのこと。是非、行ってみたいです。
- 感性が素晴らしいです。家に飾っておきたいと感じる絵がたくさんありました。
是非、収益化出来る流れを作って作者さんにお金が入る仕組みを作れるよう応援しています
- 毎回、本当に素晴らしい絵を見ることができ感動して帰ります。都内でもっと宣伝していただきたいのと、これだけのスポンサーがついていっちゃうのならば、この企画とは別に、美術館での展示もしてほしいです。
これだけの才能を眠らせているのはもったいないです!
障がい者の方達の支援として、世に広めていただきたいと願いながら見えています。
- スタッフの方々がとても良い感じでした。声もかけていただき居心地が良かったです。
様々なタイプの生き生きとした絵に出会えて、とても良かったです!
- 多彩な着眼点や表現力、そして原画ならではの迫力が素晴らしかったです。
作品のキャプションなども作家さんのコメントなどからも個性があり、読んでいて楽しいものでした。
地域の各神社仏閣・施設などの協力体制もあってと思いますが、その体制構築への熱意も相当必要と察しますので、運営の皆さまには最大限の賛辞をもって開催をお祝い申し上げます。最後に感想レベルですが、今回平面作品がほとんどかと思いますが、立体作品などもみられると面白そうだなと感じました。
- 障害者と出かけるととてもいいきっかけになる
- たまたま通りかかってお邪魔させてもらいました。とても素敵なアート作品が見れました。
家族に障がいを持つ親としても、障がい者アートという世の中と繋がる場所がある事に嬉しく思いました。
- 地域と一緒にイベントをしているところがよかったです。障がいのある当事者の社会参加につながるだけでなく、アートを通して作者個人に関心を持つきっかけになったり、初めて会場の商店街を散策するきっかけになったり、みんなを元気にする工夫に溢れていました

- 素晴らしい作品がたくさんありましたが、「障がい者だから」とか「障がい者ならでは」...とはあまり感せず、単に素敵なアート作品たちだと感じて鑑賞しました。描き込みがものすごく緻密な作品などは描き手の集中力を乗り越え、狂気に似たものを感じて感動しましたが、健常者にもそういう作品を作る人はいると思いますので。私自身も障がい者なので、パラアートについて考えを深めるきっかけになりました。
- 清洲橋をはさんだ反対側に長く住んでいますが、こんなすてきな取り組みが身近に存在することを知って、嬉しく思います。ありがとうございます
- 色使いの斬新さや視点のユニークさ、非常に緻密で繊細なタッチなど、見る作品すべてに、表現されている方々の個性が感じられて感動しました
- 庭園の自然光の中で作品が見られたこと、たくさんの方が見ていて関心をもてる方がこんなにいるんだと実感した。作品のクオリティが高く見応えがあった。作品として完全に成り立っていたところも良かった
- 深川不動のホールに偶然作者の方がいらして、どんな思いで書いたかどんな風に制作したのかを聞くことができとても興味深かったです。次回はそんなイベントもあつたらいいなと思いました
- アート展示もすばらしいですが地域の皆様が積極的に取り組まれていてすばらしいと思いました。また、アートだけでなく、本来持つ街の歴史や新しいお店など、魅力的な街並みとも融合している点がより魅力的なコンテンツとなっていました。
- 作者についてのコメントが加わっていてより、興味をもてるようになりました。また、地図で作品の情報を検索できるのもとてもよかったです。絵を見ると前回までの作品のことを思い出し、検索してその方の作品をもっと知ることができてまた、来年も楽しみになります
- 子供の頃から住み慣れた大好きな街が、素敵なARTたちにお化粧されて喜んでいるようでした。どの作品も本当に素晴らしく、慣れ親しんだ清澄庭園で2歳の息子は、作品を見つける度に冒険の途中で宝物を見つけたかのように喜んで見ている、親子揃ってワクワクが止まりませんでした。特に大正記念館は太陽の光が指して明るく、作品をより一層引き立てているように感じました。
- 街中で人々がアール・ブリュットに触れる企画、とてもステキでした！私は地方の障害者支援施設に務めており、利用者さん達のアート作品が大好きでもっと沢山のの人に観てもらいたい！という想いを強くいただいています。ですが、ほとんどのスタッフは一般企業で働いた経験がなく企業さんとプロジェクトを練っていく手法を知らず、また人手不足も相まって十分な企画も練れず、想いを実現するには程遠い状況です。こんな想いを抱えてる施設、多いのではないかなと思います。そんな中、こちらのイベントは福祉施設が主導となって行われているのではなく、地域の方達が民間団体として運営されているとお聞きました。福祉側だけでなく、アートに心を動かされた人や地域を良くしたい方達が集いひとつのイベントを作り上げる。とても素晴らしく感動しました。アートパラ深川に伺うことができ、本当に良かったです。ありがとうございました。このステキなイベントが今後も続いていきますよう、お祈り申し上げます
- 清澄庭園とアートの組み合わせは抜群です
- 来年は、寄付でも参加したい
- 素晴らしかったです。特に特別支援学校とのハートのワークショップが良かったです
- かかしの展示などもあり、街中を散歩しながら楽しめました
- 地域で連携し合い、一体感を持ってこのイベントを推進、運営されているのがよく伝わりました

ボランティア(アートクルー)

アートパラ深川ではボランティアのことを「アートクルー」と呼びます。

今年度のアートクルーの活動内容は以下の通り

- 屋内展示場所の受付
(深川不動堂ロータスホール、清澄庭園大正記念館)
- 街なかアートの事前設置作業および撤収
- 街なかアートの巡回
- 絵馬の取り付けと取り外し作業
- 屋外での誘導(ロータスホール)
- のらくろ~ドでのイベントの運営補助
- 来場者のカウント

2023年のボランティアの構成

- 参加者数 のべ365人
- 個人申込 のべ70人
- 企業団体申込 のべ295人

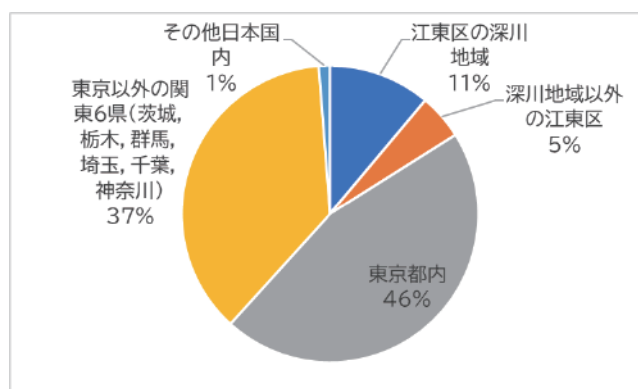
協力頂いた企業・団体 (50音順)

IHI、アシックスジャパン、インテリジェントウェイブ、NECソリューションイノベータ、NTTデータ、NTT労働組合東京総支部、江東さざんかクラブ、キーン・ジャパン、サンゲツ、JTB、清水建設、清水建設江東ブルーシャークス、大丸松坂屋百貨店、東京東信用金庫、トーヨーカネツ、日本インシーク、日本ヒューレットパッカード、パラマウントベッド、ベルシステム24、マイナビ、マッシュホールディングス、三井住友海上あいおい生命保険、明治安田生命、ヤマタネ、リそなホールディングス

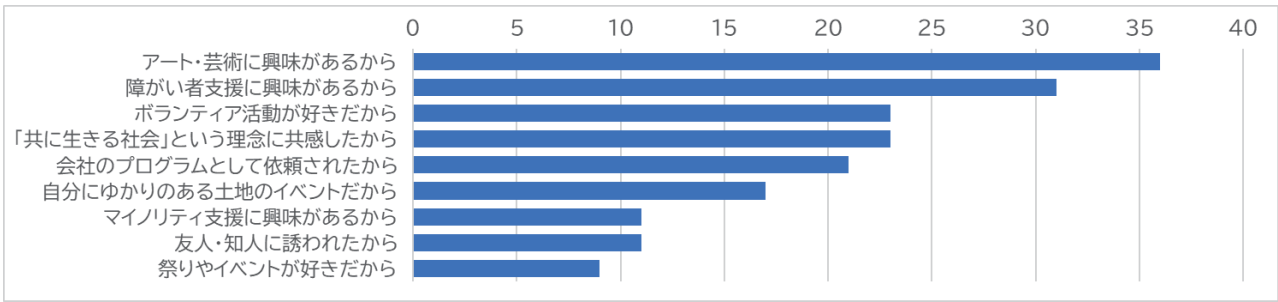
ボランティア アンケート

イベント終了後、ボランティア参加者にアンケート調査を行いました。

【居住地】

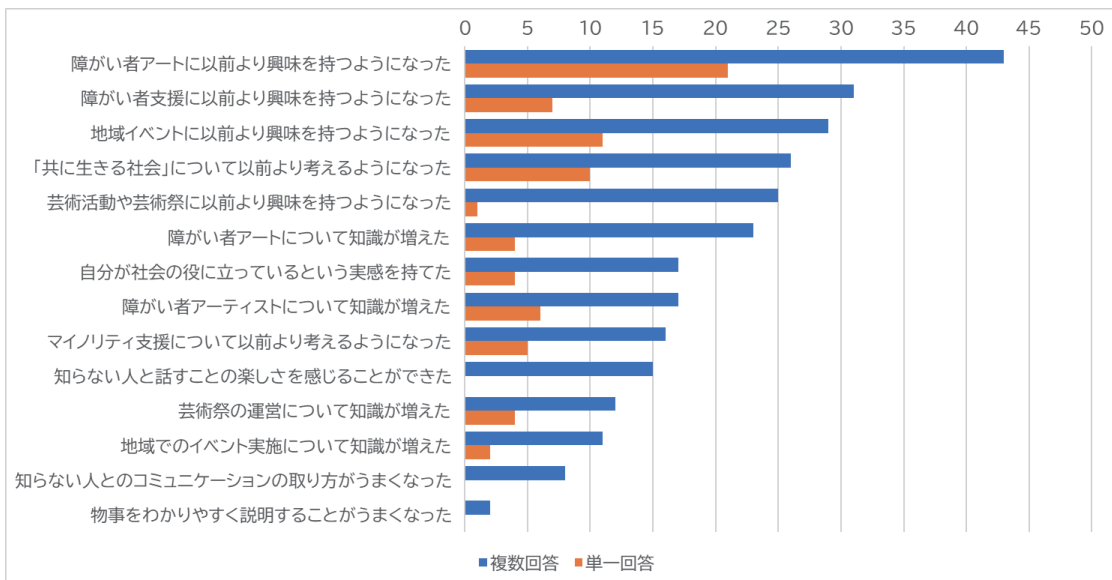


【応募動機】



ボランティア内容というよりボランティアに参加すること自体に興味があり参加しました。
自分でボランティア活動を探してとなるとなかなかハードルが高いが、会社からの案内もあり参加しやすいから。
深川の街が素敵だから、去年参加して実行委員のかたが素敵だったから
労働組合の社会的役割の一環として役立てるのではないかと思ったため。
スポーツ以外の分野に触れてみたかったから
会社がある地域の方々と交流したかったから
初めてのボランティア参加でイベントの内容にも興味を持ったから
年に一度はボランティアへ参加しようと考えているため

【アートクルーをやって気づいたことや学んだこと,感じたこと】



【アートクルーを経験したことでの自分自身が住んでいる地域に対する関わり方や

貢献の仕方に関する意識の変化について】

- 初めてのボランティアで慣れない部分も多かったが、少しは貢献できたと思う。
- 地域の方と接して、地元を盛り上げていこうとされている心意気を感じた。お仕事のある中で運営をされるのは大変だと思った。
- できることをやるという単純なことが何かや誰かの役に立てることを実感しました。肩の力を抜いて、まずは始めることを続けていきたいと思います。
- 自分の住む地域でも同じような取り組みをしていきたいと思った。
この芸術祭が他の地域にも波及されていくことを強く希望します。
- 以前より地域の観光ボランティアをしているが、今回アートクルーを体験したことによって他の協賛企業の若い人々とも接点を持つことができ、地域企業との密接な関わりも大切痛感しました。

【アートクルーを経験したことでの障がい者支援や障がい者アートに関する意識の変化について】

- 色々な物の見方、感じ方があり、それを表現できることが自分にはできないことなので素晴らしいと思いました。
- 障害者アーティストの方々をより身近に感じるようになった。
- 素晴らしいアートの数々に大変感動しました。もっと社会に広まるような活動が必要だと思います。
- 実際にアーティストさんとお会いすることもできました。自分の創作について意思というか、プライドのようなものを感じられました。「来場者の中には障害があるから感性がある」といったニュアンスの発言をされる方もいましたが、それは違うなあと思いました。個々の得意なことや、好きなことを表現、発信するのに障害の有無は関係ないと思います。障害の有無に関わらずに、素敵なものを発信する機会は貴重だなと思いました。
- この「アートパラ深川」は、もはや障がい者という枠は飛び越えていると思います。私たちアートクルーも来場者の方々も同じ「人、人間、個人」の作品として捉えています。本当に素晴らしい作品ばかりで、感動、エネルギーを頂いております。ありがとうございました。
- 芸術祭初日にロータスホールに来られたアーティストの方々とお会いすることができて、障がい者アートのその先にアーティストがいて、様々な人たちであるという当たり前のことに気づけたのは大きかったと思う。より作品に興味を持てるようになった。
- 障がい者、健常者に関係なく、芸術は芸術と考えていたが、それは健常者の驕りで、アートを世に出す仕組み、発信を助けないと、私たちも彼らの作品に巡り会えないなと考えました。
- 絵馬の取り付けを行いました。絵馬には色々な願いや楽しみなど記載されていて皆さんが自由に取組みましたことがわかり楽しくなりました。小さな絵馬ですが、素晴らしい配色などで立派な作品になっているところを見て、ご指導されている方の熱意も感じました。色々な事情や環境に私たちはそれぞれ身を置いています。各人を身近に感じることができる体験になりました。また特別支援学校で作業を行ったことや、主催者の皆さんのお話から私でもなにかお手伝いできることあるのかもしれないと思うことができました。
- 障がいの有無に関わらず、アートという共通の領域があれば、通じ合えるものがあるのだろうと強く感じました。
- 素晴らしい才能が埋もれないようにすると同時に、作品が正当に評価され、作者が経済的にも自立できる世の中になることを願う気持ちが芽生えました。
- 作品を発表する機会があることで、作家やそのご家族のみなさんの意欲やモチベーションなどが高まることが実感でき、その機会を支える活動に賛同した。



アーティストの声

アーティストの皆さんの声は、その作品展示だけではありません。
準備段階から開催後も、コミュニケーションをとりながら関わっていただき、
ともに芸術祭を作り上げていただきました。

また、一部の皆さんはご自身で発信もしていただいています。

そんな中から、いくつかアーティストやご家族、関わってくださった方々の声を一部ご紹介します。

Konomiさんのお母様より

Konomiの「あの日現れた妖怪たちとコマリマ」が富岡八幡宮の絵馬神輿の隣に、ある事でなんとも神秘的に見えて、本当に、素敵な場所に展示されていて、嬉しいです。Konomiも「わあ~良いねえ~」と喜んでます。来年は、また全国コンペを開催されるとのこと、ありがとうございます。Konomiに伝えて、「描きたいのが出てきたら描くよ!」と言っています。選んでいただけるよう応援しなくちゃです。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。



萌木さくさん (SNS 発信より抜粋)

正直障害を持つ事について中学生の頃は嫌で仕方なかったけど、支援高校の時の文化祭がきっかけで高校近くのカフェさんとも出会い、卒業後事業所で働く事が出来たし、その事業所でコンペを教えてくれたおかげでアートパラ深川を知り、アートパラ深川のおかげで2年連続賞を頂いて、様々な世界を見れたんだと思えば何も後悔もなく、この瞬間のための一本道だったんだと思えるようになり、嫌な事も今ではこの時のためと結論付けて元気に過ごせます。ただやはり無理はしないです。でも本当に心の底から生まれて良かったと思えるし出会いに感謝です。自分の最終ステップは個展を開く事。これから頑張らせて頂きますのでよろしくお願いいたします

友民さん (開催前のメールより抜粋)

生まれつき体が弱く、遠くに行くことが出来ません。本当は、とても行きたいです。仕方ないと諦めることも沢山です。だからこそ、作品が東京に行ってくれて嬉しいです。作品がかわりに旅をしてくれる。すごく素敵なことです。作品にアートパラ深川に代わりに行って貰ってる者もいることを、知っていただけたら嬉しいです。作品が、東京の友人や、知らない誰かに見て貰えること、楽しみです。



邦助さん(展示会場にてインタビュー)

こんな素敵な庭園(清澄庭園)に飾られて感無量です。作品が自然に関わるものなので、作品も喜んでると思います



ハートの作成に参加した方

「普段から色塗りが好きで、ペンを用意しておく喜んで塗っています」とお父さん。「こういう活動を通して娘のことを知ってもらえるのは嬉しい」と言ってくださいました

Hell男さん (メールより抜粋)

今回は絵が売れて大変嬉しいです。ありがとうございました。先日、アートパラ繋がりで絵を注文してくれた方に絵を届けてきました。結構喜んでもらえて、アートパラ深川には感謝しかありません。

カタノヨシトさんお父様より(メールより抜粋)

この度は、たいへんお世話に、また、お手数をおかけしました。障害を持っているものにとってとても貴重な企画展です。ますますのご発展を祈念いたします。改めて深く感謝申し上げます。

ミルカさんお母様より(メールより抜粋)

セレモニーにご招待頂きありがとうございました。とても貴重な体験が出来て親子共々喜んでおります。ミルカの絵がたくさんの方々の目に留まる機会を下さりありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。



松下侑生さんお母様より(メールより抜粋)

まさか侑生の絵を購入してくださった方がいるなんて! ありがとうございます! 侑生の絵が誰かの元で楽しんでいただける事、侑生が描いた絵で侑生の収入に繋がる事、本当に嬉しく思います。こんな機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

アーティスト所属施設の方より (メールより抜粋)

オープニング式典ありがとうございました。本当に盛大な式典で、皆さんとても喜んでいました。とても素敵な会で、本当にうれしかったです。アートパラ芸術祭も、始まるとあっという間ですね。1ヶ月くらい開催いただきたい気持ちです。運営側が大変かと思いますが、たくさんの方のボランティアさんに支えていただき本当に素晴らしい芸術祭ですね! これからもよろしく願い致します。



八木ひでともさん (メールより抜粋)

僕個人的には「絵なんて売れなくて良い。人に見られるだけで有り難い。」なんて思っていたので、本当に想定外で尚更心から嬉しいです! ホントにホントにありがとうございます! また頑張るので、これからもよろしく願いいたします。この度は本当にありがとうございました。



伊藤恭介さん、駿介さんお母様より

(メールより抜粋) 芸術祭には今回お伺いできず残念でしたが、たくさんの方々に見て頂けたこと、大変嬉しく思っております。来年度以降も参加出来るよう今後も子供たちと一緒に頑張っていこうと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

アーティスト所属施設の方より (メールより抜粋)

先日はオープニングセレモニーに作家さんたちが親子で参加できて本当に良かったです。素敵なセレモニーに私の方も感動してこれからも頑張ろうと前向き気持ちになりました。

その後、展示作品を拝見しました。皆さんの作品はどれも素晴らしくて見入ってしまいました。そして参道や商店街をあるいたら出会うアートに宝探しをしている気分で施設の作家さんの作品を見つけるのが楽しかったです。ボランティアさんもやさしく声をかけていただき本当に素敵な芸術祭だったねと言いながら帰路につきました。本当にお世話になりありがとうございました。それでは今後ともよろしく願い致します。

3 主催および共催

主催【アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023実行委員会】

実行委員(50音順) 83人

※は法人役職員兼任

実行委員長 広瀬 新朗※

副実行委員長 神吉 宇一 友田 奈津美 堀部 佳孝 望月 美穂

チームリーダー 大柳 満 緒方 佳美※ 上野 まき子 岡部 由美子 川上 朋子※ 小林 幸太
椎名 隆行 関谷 幸樹 田巻雄太郎※ 辻野 伸子 十倉 信 平手 克治※
廣部 光紀 本田 和恵 三浦 敬子 山中 大輔※

会田 久雄	有澤 世那	安藤 修	安藤 裕一	イチャンハ	飯田 貴美子	石橋 健
石山 朝一	伊藤 尚史	伊東 野有	今井 康宏	今田 美穂	岩井 荘平	上田 欽一
内野 成浩	遠藤 真央	大里 乙未	鬼ヶ原 洋	片山 祐子	加藤 文	加藤 克巳
加藤 陽子	叶内 公基	川口 葉子	神田 浩臣	北條 弘美※	鬼頭 美紀	木村 真介
権丈 玲奈	後藤 新	紺谷 理江	近藤 大介	坂丸 弓乃	佐藤 明子	佐和橋 佳利奈
滋野 敦子	渋谷 雄大	嶋田 知詠子	白井 信雄	新堀 尊斗	鈴木 寛明	鈴木 祥元
高山 陽子	田坂 瑠璃	千葉 早希恵	寺門 芽生	永島 美和子	仲野 実紀	肘井 哲也※
平井 真代	福島 治※	藤原 俊之	船木 順子	松島 直子※	松田 敦子	水島 徹
宮本 育子※	宮本 喜一郎	築瀬 飛露	吉井 康雄	吉田 浩俊	吉田 要	

【一般社団法人アートパラ深川】

代表理事 北條 弘美

副代表理事 田巻 雄太郎 肘井 哲也

理事 菅沢 運一 鈴木 定光 長谷川 健治 向井 眞幸
緒方 佳美 平手 克治 福島 治

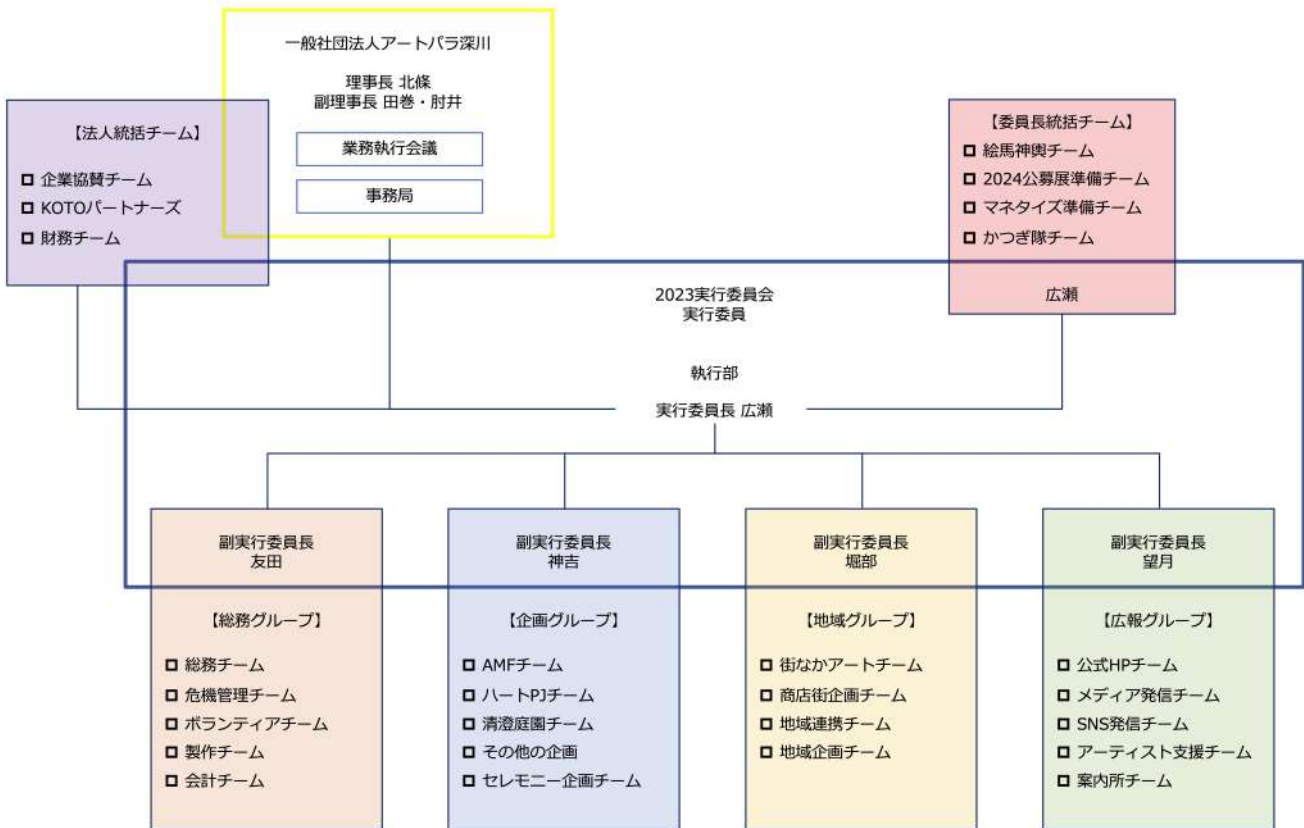
理事(実行委員長) 広瀬 新朗

理事(直前実行委員長) 松島 直子

監事 山中 大輔 矢ノ目 忠

事務局 宮本 育子 川上 朋子

組織図



4 .助成および後援、寄付

- 助成 企業メセナ協議会

- 後援 文化庁、厚生労働省、観光庁、
東京都、江東区、江東区教育委員会、
NHK、江東区観光協会、
江東区社会福祉協議会、東京都江東産業連盟

- 寄付 大蔵工業株式会社
東京江東ロータリークラブ
ロータリークラブ

5. 協賛パートナー

【協力企業団体一覧】

Top Partner



Platinum Partner



Main Partner



Festival Partner

キーン・ジャパン、クラフト、サンゲツ、セガサミーホールディングス、東急不動産、トーヨーカネツ
日本インシーク、日本たばこ産業、日本ヒューレット・パッカード、日本臨床研究オペレーションズ
パラマウントベッド、堀川産業、マイナビ

Support Partner

アートグリーン、アシックスジャパン、インテリジェントウェイブ、NECソリューションイノベータ
NTT労働組合東京総支部、オルガノ、喜代村、きらぼし銀行深川支店、クララオンライン
ジェクトワン、竹中工務店、東京ベイネットワーク、富岡八幡宮、日冠、日本セイフティー、長谷萬
花岡車輛、福山通運、ペルモビール、前川製作所、六三印刷、横浜銀行錦糸町支店、リカシツ

KOTO パートナーズ (江東区内の店舗・会社を対象とした年間協賛)

EARTH + GALLERY、イマージュコーポレーション、ガット、割烹 馬目、其角、鬼頭商店、京呉服の店 田巻屋 砂町銀座店
京呉服の店 田巻屋 深川清澄白河本店、銀座煉瓦亭深川本店、クラフトパスタリノ、サイショウエクスプレス、三幸林産
指圧Livin、下町探偵団(秀文社印刷)、SouGo、タウン誌深川、地域コミュニティ振興協会、角田税務会計事務所
DeepRiverTV (東京深川放送局)、でいくらぶ、手打ちそばはなぶさ、東京都トラック協会深川支部青年部
東和銀行深川支店、トラストリー、永田医院、NICO、ファームサポーターズ・ラボ、深川資料館通り商店街協同組合
深川 萬寿庵、fucas green、福島デザイン、丸重屋、みつ葉クリニック、メモリアルスタイル、森下駅ファミリー歯科、Riah
※法人格除く50音順

6. 協力

【特別協力】

アシックスジャパン、デザインアートセンター、東京地下鉄東京メトロ

【協力】

富岡八幡宮、深川神明宮、成田山東京別院深川不動堂、深川七福神会
東京都現代美術館、東京都第五建設事務所、東京商工会議所江東支部
江東区商店街連合会、全国特別支援学校文化連盟、全国特別支援学校長会
東京都公園協会 清澄庭園、東京都港湾局、深川江戸資料館、森下文化センター
江東区芭蕉記念館、古石場文化センター、富岡地区連合町会
深川仲町通り商店街振興組合、深川不動尊商店会、牡丹町笑栄会商店街振興組合
白河管内連合町会、深川資料館通り商店街協同組合、森下商店街振興組合
高橋のらくろ〜(高橋商店街)、豊洲地区連合町会、豊洲商友会協同組合
豊洲シエルタワー管理組合、豊洲シエルコート商店会、ブルンスタワー豊洲管理組合
豊洲ベイクラブ、物林、豊洲パークマネジメントJV、東部地区公園グループ
アーバンドックららぽーと豊洲、臨川寺、本誓寺、常照院、JUNKO KOSHINO
ゆりかもめ、松竹マルチプレックスシアターズ、日本空港ビルデング
カラダッシュジャパン、東京ドーム、東京江東ロータリークラブ、大蔵工業
三幸林産、三栄堂、風土、日本女性財団、日本インシーク、リそなホールディングス
キャンパルジャパン、サイショウ・エクスプレス、六三印刷、33kilogram
YUSUKE TAGUCHI DESIGN、東京工芸大学福島研究室、フクフクプラス
武蔵野大学 神吉ゼミ、江東さざんかクラブ、江東区英語ボランティアガイド協会、愛和
江東区手をつなぐ親の会、焼き鳥アポロ、おあしす福祉会、江東楓の会、のびのび福祉会

※法人格除く順不同

7. 運営

1. 企画グループ 統括 神吉 宇一

○AMF チーム

リーダー 関谷 幸樹

上田 欽一、上野 まき子、鬼ヶ原 洋、川口 葉子、坂丸 弓乃、十倉 信
肘井 哲也、平井 真代、宮本 育子、山中 大輔

○ハートプロジェクトチーム

リーダー 神吉 宇一

鬼ヶ原 洋、大里 乙未、寺門 芽生(実行委員)

西村 公一(アーティスト)

仲澤 茉弓・西巻 壮陽(城東特別支援学校)

高澤 昇太郎(墨東特別支援学校)

鈴木 幸枝・石垣 祐子(江東特別支援学校)

柏木 育子(臨海青海特別支援学校)

○清澄庭園チーム

リーダー 山中 大輔 | 木村 真介、滋野 敦子

2. 地域グループ 統括 堀部 佳孝

○街なかアートチーム

リーダー 椎名 隆行 | 岡部 由美子、権丈 玲奈、佐和橋 佳利菜

安藤 修、岩井 荘平、神田 浩臣、鈴木 寛明

○商店街企画チーム

リーダー 小林 幸太

木村 真介、嶋田 知詠子、友田 奈津美、松島 直子、水島 徹、吉田 要

○地域連携チーム

リーダー 広瀬 新朗

緒方 佳美、加藤 陽子、田巻 雄太郎、千葉 早希恵、平井 真代

本田 和恵、松島 直子

本チームは地域住民や開催エリア内の団体、町会、自治会等に対し、イベントの案内および
ご挨拶を行ない、フライヤーやポスター、のぼり等の地域内での配布・設置を担当しました。

3. 広報グループ 統括 望月 美穂

○ 公式HPチーム

リーダー 広瀬 新朗 | 望月 美穂

○ メディア発信チーム

リーダー 大柳 満 | 伊藤 尚史、吉井 康雄

本チームは東京都庁記者クラブをはじめ、新聞、TV、ラジオ、Webの各メディアなどに対して芸術祭のプレスリリース(投げ入れ、FAX、PRTIMESなど)、プレスリリースの作成、メディア露出記事(TV、紙媒体、Webなど)のクリッピング、イベント実施の際のプレス受付および対応などを担当しました。

トック企画さまのご協力により、芸術祭の様様をYoutubeの「門仲紀行」チャンネルにて、動画を掲載していただきました。

- ・富岡八幡宮 <https://www.youtube.com/watch?v=kQWCmkTwCGY>
- ・清澄庭園 <https://www.youtube.com/watch?v=d7QOPuPAk10>
- ・街中アート(萬年橋/隅田川テラス) <https://www.youtube.com/watch?v=z78dTMAbl4k>

【主なメディア露出】



街なか展示されている絵画 (14日、江東区で)

いつもの街が美術館

江東で展示 障害者の力作800点

江東区内の商店街などを美術館のように見立て、障害者が描いた絵画を展示するイベント「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」が開かれている。22日まで。

障害を持つアーティストの活躍の場をつくることも、区内の活性化を図ろうと区内有志が企画し、今年で4回目となる。今回は、門前仲町、清澄白河、森下、豊洲の各地区を会場に、全国の障害者を会場に、全国の障害者アーティストから応募されるなどした約800点のユニークな絵画を鑑賞できる。

また、区内の富岡八幡宮には、障害のある子どもたちが描いた絵馬を飾り付けた神輿も登場した。

14日に夫婦が作品鑑賞に訪れた台東区、合社員林綾子さん(88)は「カラフルで、個性的な作品ばかり。アートを見ながら街巡りができて楽しい」と笑顔をみせた。

読売新聞(2023年10月19日付)



歩いて楽しい かかし通り

江東区は、今年も「かかし通り」を開催する。かかしは、子どもも人気のキャラクターや今年活躍の人数のかかしが約800点の通りを飾り、通行人の目を楽しませている。【小林道】

共生社会へ 障害者アートも展示

江東区は、今年も「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」を開催する。障害者が描いた絵画を展示する。また、区内の富岡八幡宮には、障害のある子どもたちが描いた絵馬を飾り付けた神輿も登場した。

毎日新聞(2023年10月16日付) <https://mainichi.jp/articles/20231016/dtl/k13/040/009000c>



街中に展示「アートパラ」

障害のあるアーティストの作品を街中に展示する市民芸術祭「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」が、江東区の門前仲町、清澄白河、森下、豊洲周辺で14～22日に開かれる。寺社や飲食店の店先などに、計550点の絵画(複製)を展示する。深川不動堂ロータスホールと清澄庭園の大正記念館では、原画の展示も実施する。詳しくは公式ホームページ (<https://artpara-fukagawa.tokyo/>) で。

朝日新聞(2023年10月10日付)



江東の街が丸ごと美術館に

「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」障害者の作品など展示

江東区は、今年も「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」を開催する。障害者が描いた絵画を展示する。また、区内の富岡八幡宮には、障害のある子どもたちが描いた絵馬を飾り付けた神輿も登場した。

東京新聞(2023年10月15日付)



障がいのあるアーティストの作品で街全体を美術館にしよう!!

「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭」14日～9日間開催

障がいのあるアーティストの作品で街全体を美術館にしてしまおう大変ユニークな市民芸術祭「アートパラ 深川おしゃべりな芸術祭2023」が14～22日の9日間、森下・江東区の深川エリア(門前仲町、清澄白河、森下)と豊洲で開催される。今年で4回目の開催となる同芸術祭は、例年開催する全国公募展は行わず、過去3年間の入選・入賞作品を高精度な印刷技術で原画から複製した約550点のアートを街なか展示。また、昨年度の公募展入賞アーティストの個展「アートパラ・マーケット・フェア(AMF)」も行い、一部作品はオンラインでも購入ができるなど、合計770点の作品と街なかで出会うことができる。詳しくは公式サイトへ。

スポーツニッポン(2023年10月15日付)

○ SNS発信(広報)チーム

リーダー 望月 美穂

今井 康弘、大柳 満、片山 祐子、権丈 玲奈、松田 敦子、宮本喜一郎

本チームはSNS(Facebook)の発信の他、広報ツールの企画提案、来場者アンケート実施等を担当しました。

Facebook <https://www.facebook.com/artparafukagawa>

○ アーティスト支援チーム

リーダー 上野 まき子 | 川上 朋子、宮本 育子、宮本 喜一郎

本チームはアーティストとその関係者が、実行委員やアートクルー、来てくださったオーディエンスの皆さんと交流できるよう調整するチーム。昨年入賞者へAMF出展のご案内(作品出品と販売に関するやり取りとサポート(領収書作成支援など))、これまでの入選入賞者へ街なかアートのご案内(ご自身の作品の展示場所をお知らせ)、オープニングセレモニーご招待(出欠確認、座席調整)、来場アーティストの把握と取材(芸術祭会期中のご来場を確認し、可能な範囲でその様子を取材、発信)等の業務を行いました。

○ 案内所チーム

リーダー 辻野 伸子

野村修一・布上太賀・村上佳穂(深川不動堂、境内案内所設置手配)

江東区英語ボランティアガイド協会(KEV)の皆様

広瀬新朗、友田奈津美(実行委員・深川不動堂との折衝)

4. 委員長統括グループ 統括 広瀬 新朗

○ 絵馬神輿チーム

リーダー 岡部 由美子 | 会田 久雄、佐藤 明子

○ 2024公募展準備チーム

リーダー 本田 和恵 | 上田 欽一、上野 まき子、加藤 文
川上 朋子、権丈 玲奈、嶋田 知詠子、高山 陽子、十倉 信、宮本 育子

○ かつぎ隊チーム

リーダー 辻野 伸子 | 緒方 佳美、片山 祐子、神吉 宇一
川口 葉子、寺門 芽生、新堀 尊斗、平井 真代、船木 順子、松島 直子

本チームはアートパラ本祭時に個人ボランティアが不足していることを背景に、地道にアートパラのファンづくりをすることを構想、「100年続く芸術祭」の真の担い手になってもらうことをめざすチームとして今年初めて発足しました。具体的には、ファンクラブ独自のインスタグラムを立ち上げ、年間を通してアートパラやアーティスト、地域の情報等を発信、アートパラをより身近に感じてもらう、アートパラの知名度の向上とファンの拡大を目指しています。今年はInstagramでの発信とアート鑑賞ワークショップを開催しました。イベント終了後はアートやアーティストに関する勉強会などを実施し、年間通じて芸術祭を身近に感じて頂ける取り組みを実施していきます。

Instagram https://www.instagram.com/ap_katsugitai/



5. 総務グループ 統括 友田 奈津美

○ 総務チーム

リーダー 友田 奈津美

石山 朝一、紺谷理江、川上 朋子、宮本 育子、吉田 浩俊

本チームは後援・協力名義使用許可申請事務、実行委員会の運営事務、備品管理等を担当しました。

○ 危機管理チーム

リーダー 川上 朋子 | 友田 奈津美、平手 克治

本チームは芸術祭の継続、来場者とアートクルーの安全のため、リスクマネジメント、クライシスマネジメントを行うチームです。今年は特に台風等の自然災害時の対策を強化し、事故対応のフローをブラッシュアップしました。また傷害保険と原画の賠償責任保険を拡充し、より安心して芸術祭を行えるよう改善しました。会期中の事故だけでなく「きづき」や「ヒヤリハット」も収集し、今後の芸術祭運営に役立てられるよう情報共有をしました。危機管理マニュアルについては毎年見直していますが、今年は報道対応編を追記しました。

○ ボランティアチーム

リーダー 三浦 敬子 | 紺谷 理江、友田 奈津美

本チームは主にアートクルーTシャツの作成と、ボランティアの募集、調整、管理を担当しました。

○ 製作チーム

リーダー 十倉 信 | 今井 康宏、大柳 満、友田 奈津美、望月 美穂

本チームは芸術祭に係る広報ツールについて広報チームからの企画提案に基づき、制作と工程管理を担当しました。

○ 会計チーム

リーダー 廣部 光紀 | 川上 朋子、宮本 育子

本チームは芸術祭に係る経費の支払いについて、予実管理と法人事務局への支払依頼を担当しました。

6. 法人内グループ

○ 企業協賛チーム

リーダー 田巻 雄太郎

岩井 荘平、緒方 佳美、加藤克巳、北條 裕子、肘井 哲也、平手 克治

広瀬 新朗、福島 治、松島 直子、宮本 育子、山中 大輔、吉井 康雄

○ KOTOパートナーズチーム

リーダー 緒方佳美 | 川上 朋子、松島 直子、福島 治、宮本 育子

本チームは年間を通じてアートパラ深川のファンを広げて、江東区内での認知度を上げるために今年から新たにつくられた年間協賛のしくみです。一口10,000円で各種特典（アートパラ認定フレーム、ボランティアTシャツ、ホームページ上のKOTOパートナーズのマップに店名を掲載）を進呈。今回は37の企業・団体に協賛頂きました。



○ 財務審査会議

リーダー 平手 克治 | 関谷 幸樹、渋谷 雄大

本チームはアートパラ深川全ての財務について管理・監督する業務を担当しました。

10.会計報告

収入		支出	
協賛金	35,100,000	印刷費	1,586,650
寄付	250,000	運搬費	547,631
KOTO パートナーズ	450,000	会場費	843,055
法人事業収入	980,800	企画協力費	1,500,400
合計	36,780,800	業務委託料	361,260
		雑費	243,611
		謝礼金	190,000
		出演料	220,000
		設営費	72,526
		宣伝費	281,990
		通信費	1,127,845
		備品・消耗品	1,247,792
		美術・映像作品 製作費	6,120,169
		保管料	566,500
		保険料	135,170
		旅費	439,990
		法人事業支出	2,771,534
		繰越金	18,524,677
		合計	36,780,800

このデータは2024年1月末時点までの会計報告をもとに先生しております。一般社団法人アートパラ深川の正式な終始報告は、2024年6月頃ホームページ等に公開予定です。

『100年続く市民芸術祭2024へ向けて』

本田 和恵

ご協力くださる皆様のおかげをもちまして、5回目を迎えることとなります。まずはここまで私どもの活動にご賛同いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

節目となる5回目の芸術祭では、改めてこの芸術祭の大義である「共に生きる」を強く意識して参ります。

ご存知の通り、アートパラ深川おしゃべりな芸術祭は、「市民芸術祭」です。

「市民」である全国の素晴らしいアーティストの皆様と、「市民」である私ども実行委員会メンバー、作品についてご案内するアートクルー、協賛企業様やご賛同くださるボランティアの皆様とが一体となって作り上げています。

テーマは「わ」

「わ」から何を連想されるでしょうか。日本を表す「和」、和の心を重んじる日本で、アートを愛する人々が連なり「輪」となり、おしゃべり(対話)を重ねる、たくさんの「吾(我)」のアイデアと知恵を足し算(「和」)すれば、それはとてつもなく大きな力になるはずです。そしてその「話」を未来へ語り継ぐ循環の「環」..

100年続く芸術祭の小さな、小さな、区切りの年に、更に強く、さらに輝く、個性豊かな大きな輪を広げていきます。

【アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2024 開催概要】

開催期間：2024年10月19日(土)~27日(日)

開催場所：門前仲町・清澄白河・森下・豊洲 4拠点

※豊洲地区では開催期間終了後のイベントも企画中



2024の実行委員会がスタートしたところです。具体的な内容はこれからたくさんの対話を重ねて決定してまいります。ご支援くださる皆様のご期待に応えられるよう、実行委員一同「和」をもって取り組んで参ります。どうぞ引き続き、ご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。(私の名前が「和」に恵まれている、という偶然も!)



2024年実行委員長

本田 和恵 ほんだ かずえ

江東区古石場在住。
日経BP社読者サービスセンター退職後、
フリーランスとして、コミュニケーションをメインとした実務、
部下指導、チームビルディング研修など、
多くの企業・行政にて登壇。
日本講師協会理事。また、江東区立平久小学校、
江東区立東陽中学校PTA会長、
江東区立中学校PTA連合会長を経て、
現在は江東区教育委員教育長職務代理。

「アートパラ深川 おしゃべりな芸術祭2023 開催報告書」

〈編集〉
アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2023実行委員会
総務グループ

〈発行所〉
一般社団法人アートパラ深川
〒135-0045 東京都江東区古石場3-11-17
福島デザイン内アートパラ深川事務局

2024年 2月 初版